

# 研究の概要

## 研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の創造

### 主体的な学び

- わくわくする最終ゴール
- みんなで解決する学習課題
- 予想から導く見通し
- 次の学習につながる振り返り

### 対話的な学び

- 子供たちを困らせる、迷わせる状況の設定
- 協働活動 ・ 思考ツールの活用
- 「なぜ」を追究する問いの焦点化

今日はこれについて知りたい!

## 深い学び

子供の発する言葉を活かす

- 複数の知識を組み合わせる状況設定
- 知識や情報を構造的に可視化
- 互いの発言に共感できる対話
- 学習を実生活につなげる単元等の終末における学習活動

知識・情報・思いを使う、つなげる。 「静」から「動」への駆動

## 学びの過程



	低学年	中学年	高学年
テーマ	【主】習得 活用 探究	【主】活用 習得 探究	【主】探究 習得 活用
研究のゴールとしての変容した児童の姿	友達との学び合いを楽しみながら、「知識・技能」や「思考力・判断力等」を身に付けている。 (主体的)	学習課題を協働的に解決することを通して、生きて働く「知識・技能」や「思考力・判断力等」を習得し、実生活・実社会の中で活用しようとしている。 (対話的)	学習内容を深く理解し、実生活とのつながりを通して自分の人生をよりよくするために学び続けようとしている。 (深い学び)
特別支援学級 (なかよし学級)	個に即した習得⇒活用⇒探究 友達との活動に喜びや楽しさを感じながら個々の実態に応じた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を習得し、実生活で活用しようとしている。 (主体的)		

## 「深い学び」のその先へ...

- 学びを人生や社会に活かそうとする姿
- 生きて働く知識・技能を有した姿
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を有した姿